

iPhone、Apple Watchを紛失した場合の手順

まず大前提として、

- 各デバイスのシリアルナンバー、IMEI（端末識別番号）が必要なのでメモしておく
- iCloudの「探す」機能が有効。これが有効になってないと以下の機能は使えないし保証対象外になる
- 家族のデバイスや別のデバイスが使える状況。→ノートパソコンや古いiPhoneなどを予備に持っていく
- 人目につくところに出しておかない。ストラップを外さない。歩きスマホしない。
- ポケットに入れるところを見られたらポケットからスラれるのでハンドストラップやネックストラップが重要
- 「盗難デバイス保護」の設定をONにする

手順1：紛失したらすぐ「紛失としてマーク」してデバイスをロックする

- 1 予備のiPhoneまたは家族のデバイスで「<https://www.icloud.com/find/>」にアクセスし、紛失盗難した**当該デバイスの「紛失モード」を有効にする**（個人情報へアクセス不可になる）
- 2 Apple IDのサイト（<https://appleid.apple.com>）で支払いカード情報を削除する
- 3 ケータイ会社に連絡して回線を止める

お使いのケータイ会社の連絡先を記入

手順2：どうしてもiPhoneが出てこない場合（盗難にあった場合）

- 1 Apple IDのパスワードを変更する
- 2 AppleCare+ 盗難・紛失プラン*1で請求する（旅行先でも4日程度で交換機を手配してもらえる）
- 3 警察に届け出る（※シリアルナンバー、IMEI＝端末識別番号が必要）
- 4 保険会社に連絡する
- 5 **補償請求完了後*2の最終手段：**
iCloudで「このデバイスを消去」を選択し、iPhoneの中身をリモートで全消去する

*1:<https://support.apple.com/ja-jp/108053>

*2:補償請求が承認されるまでは「探す」やApple IDからデバイスを削除しないでください。

	iPhone	Apple Watch
シリアルナンバー		
IMEI		

この機密情報は心配であればここには書かず、パスポートと一緒にセキュリティポーチへ。

クレジットカードの盗難・紛失への対処手順

まず大前提として、

- 公共交通に乗る時はWatchのエクスペスカードか交通系ICを使ってクレカを出さない
→ ロンドンはWatchのエクスペスカード、パリはNavigo Easy。
- クレカの使用履歴の通知設定をONにしておく
- 人目につくところに出しておかない、財布のストラップを外さない
- 使うカードと予備のカードを別の場所にしまっておく
- RFID（アルミのシールド）に挟んでおく

- 1 クレジットカード会社に連絡する
- 2 その時、必要であれば緊急カードの発行を依頼する（1~2日でホテルへ届く）
- 3 現地の警察に届け出て遺失届出証明書をもらう

お使いのクレジットカード会社の連絡先を記入

パスポートの盗難・紛失への対処手順

- 1 現地の警察で「ポリスレポート（紛失・盗難の届出証明書）」を発行してもらう
- 2 日本大使館や総領事館（在外公館）でパスポート失効手続きをする
- 3 同時に、「帰国のための渡航書発行」の手続きをする

目的地の大使館・領事館の所在地と電話番号を記入

外務省「[たびレジ](#)」に登録しておくと、大使館などの連絡先や現地の安全情報などがLINEで届きます。